

茨城県におけるモニタリング状況(1/2)

文部科学省

H23.3.17 14:00

μSv/h(マイクロシーベルト毎時)

日時	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 (茨城県東海村)	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 (茨城県東海村)	東京大学衛生 (茨城県東海村)
3月16日			
7:00	4.40	4.68	4.82
7:18		5.14	
7:18	5.00		
7:30	5.00	4.50	4.88
7:48			5.80
8:00	5.80	6.08	3.58
8:30	4.90	2.98	3.15
8:00	4.00	2.66	2.88
8:30	3.80	2.30	2.88
10:00	2.30	2.17	2.82
11:00	2.50	1.85	2.14
12:00	2.60	1.87	2.03
12:30	2.60		1.65
13:00	2.40	1.54	1.69
13:30	2.30	1.48	1.68
14:00	2.20	1.43	1.66
14:30	2.10	1.34	1.60
15:00	2.10	1.28	1.51
15:30	2.00	1.23	1.47
16:00	2.00	1.21	1.41
16:30	1.80	1.17	1.38
17:00	1.80	1.16	1.34
17:30	1.80		1.24
18:00	1.60	1.08	1.42
18:30	1.60	1.07	1.28
18:00	1.60	1.05	1.24
18:30	1.60	1.03	1.28
20:00	1.70	1.02	1.33
20:30	1.70		1.22
21:00	1.70	1.00	1.24
21:30		0.88	1.20
22:00	1.70		1.11
22:30	1.70	0.88	1.08
23:00	1.70	0.87	1.22
23:30		0.86	1.20
3月18日			
0:00	1.60	0.88	1.11
0:30		0.83	1.08
1:00	1.60	0.84	1.11
1:30	1.60	0.84	1.08
2:00	1.60	0.85	1.14
2:30	1.60	0.86	1.11
3:00	1.70	0.86	1.12
3:30	1.80	0.85	1.20
4:00	1.70	0.85	1.22
4:30	1.70	0.88	1.30
5:00	2.10	1.67	1.80
5:30	2.50	2.00	2.33
6:00	2.80	2.34	2.71
6:30	2.70	2.13	2.40
7:00	2.50	1.88	2.12
7:30	2.40	1.80	1.98
8:00	2.30	1.71	2.00
8:30	2.30	1.85	1.88
9:00	2.20	1.58	1.85
9:30	2.10	1.53	1.72
10:00	2.10		1.67
10:30			1.63
11:00			1.59
11:30			1.55
12:00	1.90	1.32	1.54
12:30	1.80	1.23	1.42
13:00	1.80		1.41
13:30	1.80	1.10	1.43
14:00	1.80	1.10	1.38
14:30	1.80	1.14	1.37
15:00	1.70	1.12	1.38
15:30	1.70	1.11	1.30
16:00	1.80	1.10	1.38
16:30	1.80		1.35
17:00	1.80	1.07	1.36
17:30	1.80	1.07	1.28
18:00	1.80	1.06	1.30
18:30	1.80	1.08	1.34
19:00	1.80	1.05	1.33

モニタリングカーによる放射線モニタリングについて (第2版)

2011年3月18日

文部科学省 EOC 放射線班

注: 下線部: 前回版から修正・追加した部分

1. 放射線モニタリングの測定値について

福島県において文部科学省が実施した放射線モニタリングの測定値のうち、他の測定個所と比べ高い数値が計測された地点 (測定個所 3.1, 3.2, 3.3 の3地点) の結果については、次の観点を踏まえた結果、測定器や測定方法等の不具合によるものではなく、測定時の風向、測定個所の地形的特徴によるもので、妥当なものと考えている。

また、本日、当該地点を測定した結果も同様の結果を示している。(別紙参照)

○測定前日の気象: 福島第一原子力発電所の方角から風下側にあった。また、その後、積雪があった

○測定個所の地形的特徴: 流れてきた放射性物質が滞留しやすい谷間地形であること

○測定値: 当該測定地点までの往復時の線量の変化 (別紙参照) から見て、測定個所 3.1, 3.2, 3.3 の数値が高いことは明らかであること

なお、当該地点の測定を中部電力にも依頼中。

2. 18日以降の対応について

18日以降の放射線モニタリングについては、念のため、次のように実施する。

① 測定チームが用いる車、測定器等については前日のものから変更する。

② 測定に用いる4台の測定器について、出発前※及び帰着時に同一の場所で測定し、それぞれの測定器による測定値の間で有意な誤差がないことを確認する。

※ 出発前の測定は19日以降

(別紙)

移動中車内の線量率変化(参考値)

測定時刻	17日 測定値 (μ Sv/h)	18日 測定値 (μ Sv/h)	参考 (測定地点)
9:45	18.1		
10:15	10.8		
10:39	20.2		
11:30	13.1		
12:15	11.4		
12:35	43.1		
12:44	58.6	40.0	31
12:58	160.0		
13:02	167.0	140.0	32
13:17	91.8	52.0	33
13:45	59.3	45.0	31
14:01	170.0	140.0	32
14:17	95.1	52.0	33
14:44	61.6		31
15:00	158.0		32
15:17	78.2		33
15:27	40.9		
15:47	15.7		
16:00	17.4		
17:00	16.3		
17:30	14.0		

<出発時刻

<定点測定開始時刻

<定点測定終了時刻

<出発点到着時刻

政務3役承認待ち
 共有 ← EKC 放射線科
 福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果について

プレス発表資料

平成23年3月18日10時00分現在
 文部科学省

1. 文部科学省が実施した結果(注)本下線線一タが今回追加分

- *1 GM(Gガイガー-ミュンラー計測管)における値
- *2 数値類における値
- *3 NaI(ソブ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記録のない限り除外)	天候	実施者
測定箇所【1】(約80km北西)	3月17日17時45分	8.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【48】(約25km北西)	3月17日17時00分	39.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【41】(約25km西)	3月17日16時25分	3.5 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【45】(約20km南)	3月17日16時20分	4.7 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【42】(約35km西)	3月17日16時15分	3.2 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【63】(約45km北西)	3月17日16時10分	8.0 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【4】(約50km北西)	3月17日16時10分	5.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【10】(約40km北西)	3月17日16時58分	3.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【62】(約40km北西)	3月17日16時38分	20.0 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【11】(約40km北西)	3月17日16時35分	4.9 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【61】(約40km北西)	3月17日16時30分	15.0 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【33】(約30km北西)	3月17日16時15分	76.2 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【12】(約40km西)	3月17日16時14分	1.5 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【43】(約25km南西)	3月17日15時00分	2.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【44】(約30km南)	3月17日15時00分	3.3 [※]	降雨無し	東京電力

- *1 GM(ガイガー-ミュラー計測管)における値
 *2 夏型における値
 *3 NaI(白金化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクローンベリット/時) (冠戴のない限り置外)	天候	実施者
測定箇所【32】 (約30Km北西)	3月17日15時00分	150.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【20】 (約45Km北西)	3月17日15時00分	0.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【2】 (約55Km北西)	3月17日14時50分	16.3 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【28】 (約35Km西北西)	3月17日14時50分	1.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【31】 (約50Km西北西)	3月17日14時44分	61.6 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【15】 (約35Km西)	3月17日14時42分	3.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【22】 (約35Km西北西)	3月17日14時35分	0.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】 (約35Km西)	3月17日14時28分	1.4 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【3】 (約45Km北西)	3月17日14時25分	7.2 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【21】 (約50Km西北西)	3月17日14時20分	7.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【33】 (約30Km北西)	3月17日14時17分	95.1 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【13】 (約40Km西)	3月17日14時17分	1.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【53】 (約45Km南)	3月17日14時03分	1.5 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【32】 (約30Km北西)	3月17日14時00分	170.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【23】 (約35Km西北西)	3月17日13時50分	1.4 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【10】 (約30Km西)	3月17日13時47分	5.5 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【31】 (約30Km西北西)	3月17日13時45分	59.9 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【15】 (約35Km西)	3月17日13時42分	3.2 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター

GM(ガイガー-ミュンデラー計測管)における値
 *2 電線筒における値
 *3 NaI(白)北トリウムシンチレーターにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (距離のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【22】(約40Km西北西)	3月17日13時35分	1.1 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】(約35Km西)	3月17日13時28分	1.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【7】(約45Km北)	3月17日13時25分	2.7 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【33】(約30Km西北西)	3月17日13時23分	91.8 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【21】(約30Km西北西)	3月17日13時20分	7.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【13】(約40Km西)	3月17日13時17分	1.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【6】(約45Km北)	3月17日13時10分	3.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【31】(約30Km西北西)	3月17日13時10分	58.8 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【32】(約30Km西北西)	3月17日13時10分	167.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【46】(約20Km西北西)	3月17日13時00分	40.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【5】(約45Km北)	3月17日12時55分	3.3 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【23】(約35Km西北西)	3月17日12時50分	1.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【15】(約35Km西)	3月17日12時42分	3.2 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【22】(約35Km西北西)	3月17日12時35分	1.1 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】(約35Km西)	3月17日12時29分	1.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【7】(約45Km北)	3月17日12時25分	4.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【21】(約30Km西北西)	3月17日12時20分	6.2 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【13】(約40Km西)	3月17日12時17分	1.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター

- *1 GM(ガイガー-ミュンデラー計測管)における値
- *2 電離箱における値
- *3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	線量(マイクローンベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【45】 (約20Km南)	3月17日12時12分	4.5 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【6】 (約45Km北)	3月17日12時10分	3.2 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【44】 (約30Km南)	3月17日12時10分	3.4 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【12】 (約40Km西)	3月17日12時05分	1.6 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【6】 (約45Km北)	3月17日11時55分	2.6 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【43】 (約20Km南西)	3月17日11時50分	2.1 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【20】 (約40Km北西)	3月17日11時45分	1.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【51】 (約40Km南西)	3月17日11時45分	4.7 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【52】 (約40Km西)	3月17日11時45分	1.7 [※]	降雨無し	福島県
測定箇所【11】 (約40Km北西)	3月17日11時27分	5.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【7】 (約45Km北)	3月17日11時25分	3.4 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【10】 (約40Km北西)	3月17日11時13分	4.5 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【6】 (約45Km北)	3月17日11時10分	2.8 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【42】 (約30Km西)	3月17日11時00分	3.3 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【9】 (約45Km北)	3月17日10時58分	4.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【6】 (約45Km北)	3月17日10時55分	2.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【4】 (約50Km北西)	3月17日10時33分	4.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【3】 (約45Km北西)	3月17日10時20分	9.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構

GM(ガイガー-ミュラー計測管)における値
 *2 電線塔における値
 *3 NaI(自ウレナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (距離のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【4】 (約25km西)	3月17日10時15分	3.6 [#]	降雨無し	東京電力
測定箇所【2】 (約56km北西)	3月17日9時50分	13.7 [#]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【1】 (約60km北西)	3月17日9時20分	7.0 [#]	降雨無し	日本原子力研究開発機構

2. 東京電力: 警察庁の測定については準備中

福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果

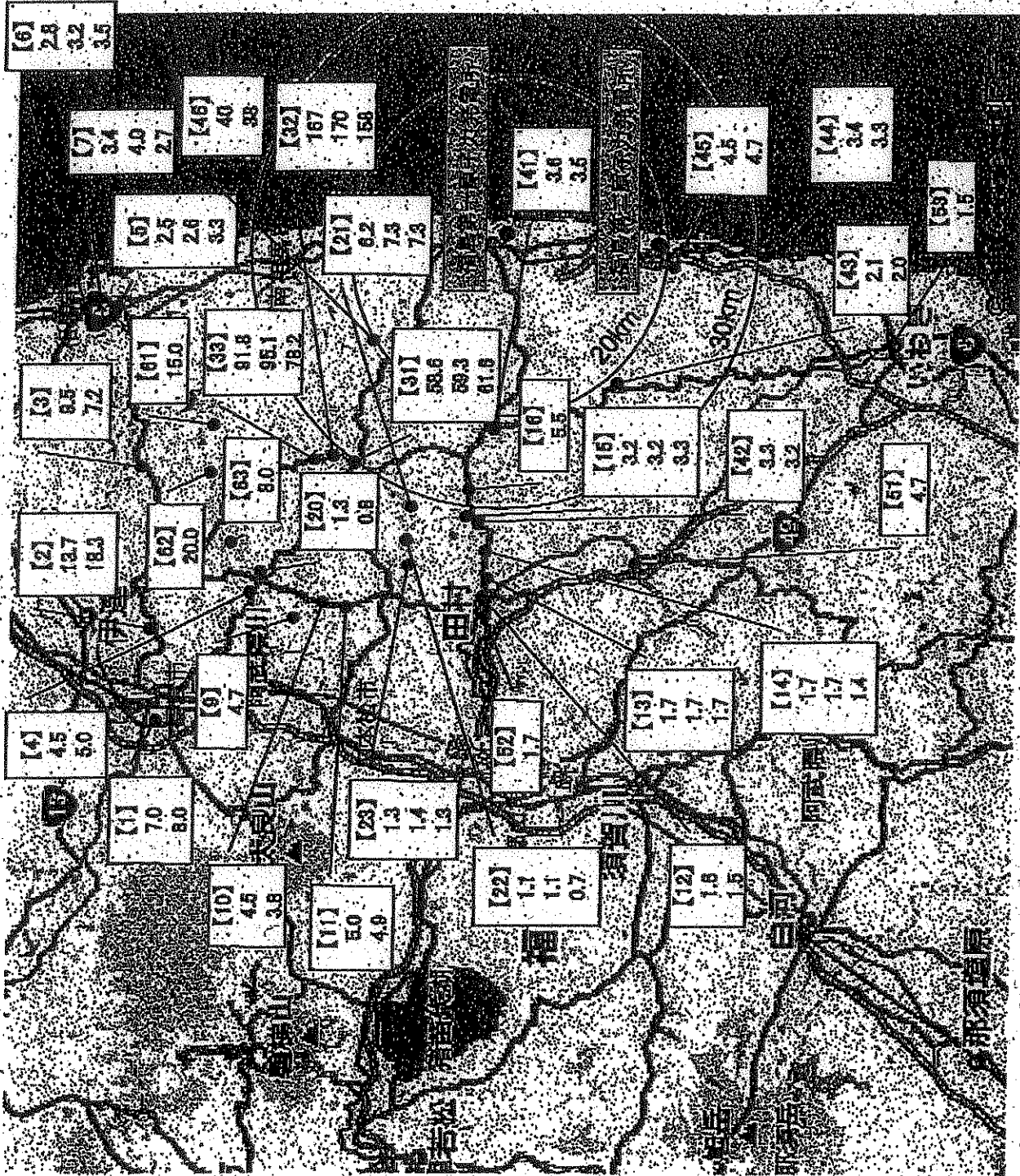
測定日時

3月17日

9時20分～17時43分

●測定箇所

単位:マイクローバートル毎時



屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: μSv)		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 ・放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ・ウランによる骨表面又は肺の等価線量 ・プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量	
10,000~ 50,000	100,000~ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000以上	500,000以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力発電所の防災対策について」(昭和55年6月30日)
 原子力安全委員会決定(最終改訂 平成22年8月24日)を

福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果について

プレス発表資料

平成23年3月19日10時00分現在
文部科学省

1. 文部科学省が集計した結果注) 本下線データが今回追加分

- *1 GM(ガイガー-ミュンラー計測管)における値
- *2 福島県における値
- *3 NA(ウチノナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第一発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記録の無い限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【1】(約60Km北西)	3月18日18時05分	8.0 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【1】(約60Km北西)	3月18日10時08分	8.5 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【4】(約50Km北西)	3月18日18時00分	4.8 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【4】(約50Km北西)	3月18日10時55分	5.7 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【5】(約45Km北)	3月18日13時40分	3.5 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【5】(約45Km北)	3月18日12時40分	3.2 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【6】(約45Km北)	3月19日11時40分	7.5 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【6】(約45Km北)	3月18日14時10分	3.0 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【6】(約45Km北)	3月18日13時10分	3.8 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【6】(約45Km北)	3月18日12時15分	7.5 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【7】(約45Km北)	3月18日14時18分	2.4 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【7】(約45Km北)	3月18日13時18分	3.0 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【7】(約45Km北)	3月18日12時22分	4.1 ^{NA}	降雨無し	文部科学省
測定箇所【10】(約40Km北西)	3月18日15時45分	3.3 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【10】(約40Km北西)	3月18日11時28分	4.0 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【11】(約40Km北西)	3月18日15時28分	4.8 ^{NA}	降雨無し	原子力安全技術センター

共有
EO (放)

ERC (放) → ERC
OSL
原安委
水原

*1 GM(ガイガー-ミュラー計測管)における値

*2 電線塔における値

*3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (距離の2乗に反比例)	天候	実施者
測定箇所【11】(約40Km北西)	3月18日11時30分	5.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【12】(約40Km西)	3月18日15時32分	0.6 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【12】(約40Km西)	3月18日12時40分	1.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【13】(約40Km西)	3月18日14時08分	0.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【13】(約40Km西)	3月18日13時08分	0.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【13】(約40Km西)	3月18日12時08分	0.9 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】(約35Km西)	3月18日14時22分	0.9 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】(約35Km西)	3月18日15時22分	0.5 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【14】(約35Km西)	3月18日12時22分	0.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【15】(約35Km西)	3月18日14時36分	2.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【15】(約35Km西)	3月18日15時36分	1.6 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【16】(約35Km西)	3月18日12時36分	1.6 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【20】(約45Km北西)	3月18日12時14分	2.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【21】(約30Km西北西)	3月18日14時35分	6.7 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【21】(約30Km西北西)	3月18日13時34分	9.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【21】(約30Km西北西)	3月18日12時35分	8.5 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【22】(約35Km西北西)	3月18日14時46分	2.2 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【22】(約35Km西北西)	3月18日13時46分	2.3 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター

- *1 GM(ガイガー-ムーラー計測管)における値
- *2 電線塔における値
- *3 NaI(βウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り風外)	天候	実施者
測定箇所【22】(約45Km西北西)	3月18日12時48分	2.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【23】(約35Km西北西)	3月18日15時04分	2.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【23】(約35Km西北西)	3月18日14時04分	3.0 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【23】(約35Km西北西)	3月18日13時04分	2.8 [※]	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所【31】(約30Km西北西)	3月18日13時20分	45.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【31】(約30Km西北西)	3月18日12時20分	45.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【31】(約30Km西北西)	3月18日11時20分	40.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【32】(約30Km北西)	3月18日13時32分	150.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【32】(約30Km北西)	3月18日12時35分	140.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【32】(約30Km北西)	3月18日11時33分	140.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【33】(約30Km北西)	3月18日13時45分	52.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【33】(約30Km北西)	3月18日12時47分	52.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【33】(約30Km北西)	3月18日11時47分	52.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【41】(約20Km西)	3月18日16時15分	2.9 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【41】(約20Km西)	3月18日12時10分	3.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【42】(約30Km西)	3月18日16時09分	3.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【42】(約30Km西)	3月18日11時40分	3.0 [※]	降雨無し	東京電力
測定箇所【43】(約20Km南西)	3月18日15時00分	1.7 [※]	降雨無し	東京電力

- *1 CM(ガイガー-ミュラー計測管)における値
- *2 電離箱における値
- *3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクログロウスケール/時) (記録のない限り除外)	天候	実施者
測定箇所【40】(約30km南西)	3月18日11時05分	1.4 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【44】(約30km南)	3月18日15時00分	2.9 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【44】(約30km南)	3月18日19時50分	3.0 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【45】(約20km南)	3月18日14時25分	4.8 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【45】(約20km南)	3月18日10時41分	4.0 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【46】(約20km北西)	3月18日15時20分	32.0 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【46】(約20km北西)	3月18日12時20分	33.0 ^②	晴雨無し	東京電力
測定箇所【51】(約40km南西)	3月18日15時32分	0.9 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【51】(約40km南西)	3月18日12時32分	0.9 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【52】(約40km西)	3月18日16時13分	0.9 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【52】(約40km西)	3月18日11時52分	1.6 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【61】(約40km北西)	3月18日14時38分	7.8 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【61】(約40km北西)	3月18日12時45分	14.2 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【62】(約40km北西)	3月18日14時50分	30.0 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【62】(約40km北西)	3月18日12時34分	30.0以上 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【63】(約45km北西)	3月18日16時11分	9.8 ^②	晴雨無し	福島県
測定箇所【63】(約45km北西)	3月18日11時57分	10.5 ^②	晴雨無し	福島県

2. 防衛省の測定については準備中

福島第一原子力発電所における事象(概要) (2011年03月03:00時点)

1号機

2号機

3号機

4号機

(INES評価レベル5)

(INES評価レベル5)

(INES評価レベル5)

(INES評価レベル3)

5,6号機

事象	<ul style="list-style-type: none"> -11日15:42 10条通報(電源喪失) -11日16:36 15条事象の発生(冷却装置注水不能) -12日00:49 15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇) -12日15:36 水素爆発 	<ul style="list-style-type: none"> -11日15:42 10条通報(電源喪失) -11日16:36 15条事象の発生(冷却装置注水不能) -14日13:25 15条事象の発生(冷却機能喪失) -14日22:50 15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇) -15日06:10頃 異音発生・サブレンジンプール損傷 -15日08:25 白煙が発生 	<ul style="list-style-type: none"> -11日15:42 10条通報(電源喪失) -13日05:10 15条事象の発生(冷却機能喪失) -14日07:44 15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇) -14日11:01 水素爆発 -15日10:22 400mSv/h線量 -16日06:40, 08:47 400mSv/h線量 -16日08:34, 10:00 白煙が発生 	<ul style="list-style-type: none"> -使用済燃料貯プール水温度が上昇 -15日09:38 3階部分で火災(12:25鎮火) -16日05:45 火災(07:26鎮火) 	<ul style="list-style-type: none"> -使用済燃料貯プール水温度が上昇
措置	<ul style="list-style-type: none"> -12日14:30 ベント開始 -12日20:20 原子炉への海水注入 -19日～電源復旧作業中(20日中復旧予定) 	<ul style="list-style-type: none"> -14日16:34 原子炉への海水注入 -15日00:00 ベント開始 -17日～電源復旧作業中(現時点で受電まで復旧) 	<ul style="list-style-type: none"> -13日08:41 ベント開始 -13日13:12 原子炉への海水注入 -17日09:48 放水(へり、消防車等) -18日14:00 放水(自衛隊, 米軍放水車) -19日00:30～01:10 放水(東京消防庁) -19日17:30～放水(東京消防庁) -19日～電源復旧作業中(20日中復旧予定) 	<ul style="list-style-type: none"> -19日午後 放水予定(自衛隊) -19日～電源復旧作業中(20日中復旧予定) 	<ul style="list-style-type: none"> -17日07:00頃～キャスク(使用済燃料保管・輸送容器)の外観目視の結果、異常なし
水位(TAF)	(A)-1750mm (B)-1750mm (19日22:30)	(A)-1350mm (19日22:30) ※TAF:有効燃料頂部	(A)-1950mm (B)-2250mm (19日21:50)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【最高使用圧力(1～3号機)】 0.427MPaG(0.528MPaabs) ※MPaabs(絶対圧)=MPaG(ゲージ圧)+0.101(大気圧) </div>	
原子炉圧力	(A)0.205MPaG (B)0.164MPaG (19日22:30)	(A)0.009MPaG (B)0.023MPaG (19日22:30)	(C)0.088MPaG (B)0.122MPaG (19日21:50)	5号機:2014mm 6号機:2446mm (19日23:00)	
D/W 圧力	0.18MPaabs (19日22:30)	0.130MPaabs (19日22:30) ※D/W:原子炉格納容器	0.255MPaabs (19日21:50)	5号機:0.757MPaG 6号機:0.537MPaG (19日23:00)	
状況	15日15:30 炉心損傷割合70%	15日15:30 炉心損傷割合:33%	14日06:35 炉心損傷割合:30%	84 43.1 67.5 57	



EOC
ERC ← NSC

3/21 11:15

情報共有
緊急対策チーム
原子力安全委員会
緊急技術助言組織

ダストモニタリング地点での空間線量率の測定 (助言)

平成 23 年 3 月 21 日

原子力安全委員会

緊急技術助言組織

環境ダストモニタリングにおいてダストサンプリングと同時に空間線量率を測定して、環境ダスト分析結果と合わせて報告するよう助言します。

現在、環境空気中のダストモニタリングデータの報告を受けていますが、その地点のダストサンプリング時における空間線量率データがありません。

空間線量率のデータだけがある地点での内部被ばく線量を概算するにあたり、比較的広範囲の報告を受けている空間線量率のデータとダストモニタリングで得た核種毎の放射能濃度データを関連つける必要があります。

このため、環境ダストのサンプリング地点における空間線量率も合わせて報告してください。

なお、環境ダストの測定は、避難所の近傍も、含まれていることが好ましいと考えます。

以上

FAX 送受信票

日時: 平成 23 年 3 月 22 日 0 時 15 分

送付先	
班名 ERC 放射線班 氏名	班 正島 様
FAX 番号	(電話番号:)

送付元	
組織名 文科省 非営利(株) 氏名 茶山	モリタリョウ 班
FAX 番号	(電話番号:)

件名	
送信枚数	枚 (本票含む)
(連絡内容) 文科省 21307025 の報	

受信側処理

班内処理	<input type="checkbox"/> 口頭伝達 <input type="checkbox"/> コピー配付 <input type="checkbox"/> ホワイトボード記入 <input type="checkbox"/> 情報共有システム記入
班外処理	<input type="checkbox"/> 口頭伝達 <input type="checkbox"/> コピー配付 <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX
(特記事項)	

(共有) 官邸 ← ERc

海域モニタリング行動計画 (案)

平成23年3月22日

文部科学省

1. 海域モニタリング計画の目的

福島第一及び第二原子力発電所から放出される放射性物質の状況について確認するため、海上のモニタリングを実施する。

2. 海域モニタリング行動計画

施設沿岸における空間線量率の測定及び海水の採取を(独)海洋研究開発機構の調査船により実施。採取した海水については、(財)日本分析センターに送付し、分析を行う。

(行動計画案)

○測定場所：従来、実施していた海洋環境放射能総合評価事業と同様の海域で海水を採取。沿岸約30kmの水域(空間線量率の測定を実施し、乗員の安全を確保できる距離とする。)。約10kmごとに海水の採取を8カ所で行い、過去の調査との比較を行う。

3. モニタリングの日程

平成23年3月22日 調査船出航

平成23年3月23日 海水採取

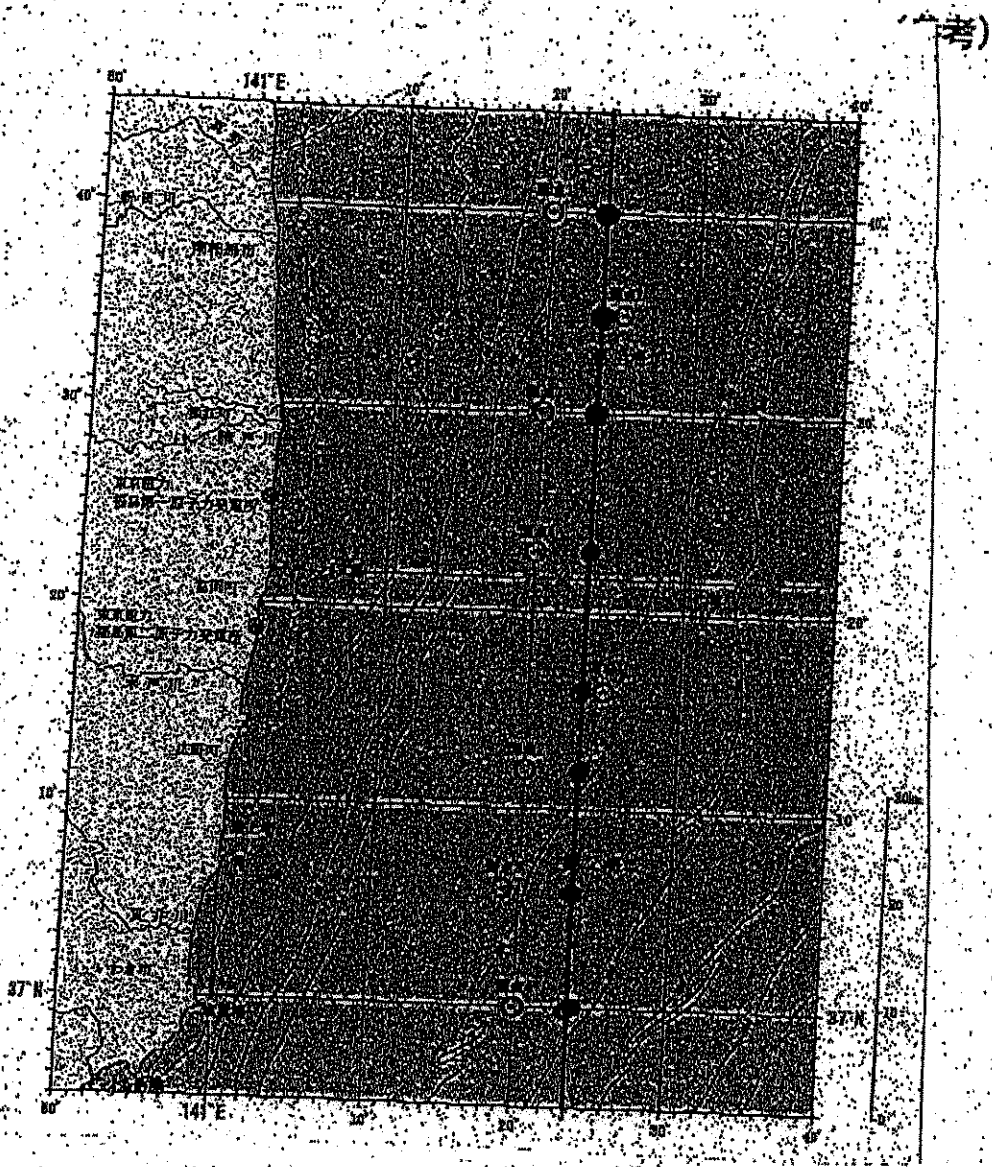
測定に要する時間は、濃度等により異なるが、3月24日頃結果を発表予定。

4. モニタリング項目

(1) 海水中の放射能濃度

(2) 海上の空間線量率

(3) 海上の塵中の放射能濃度



- 従来の海洋環境放射能総合評価事業における海水の採取点
- 今回の海域モニタリングにおける海水の採取点

共有
ERC 巡回 ← ERC 放射線科

9.20

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成23年3月21日

福島第一原子力発電所の20Km以遠の
モニタリング結果について

(3月21日19:00現在)

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部
 萩田(ほりた)、新田(にった) (内線4604、4605)
 電話: 03-5253-4111 (代表)
 [Redacted] (直通)

プレス発表資料

福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリングについて

平成23年3月21日21時00分現在
文部科学省

1. 文部科学省が集計した結果(注)本下電子データが今回適用分

- *1. GM(ガイガー-ミュラー計測管)における値
- *2. 覆層箱における値
- *3. NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクログンペルト/時) (記載のない限り覆層)	天候	実施者
測定箇所【1】(約60Km北西)	3月21日13時38分	5.0 [※]	降雨有り	日本原子力研究開発機構
測定箇所【1】(約60Km北西)	3月21日8時49分	4.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【2】(約58Km北西)	3月21日13時42分	8.4 [※]	降雨有り	日本原子力研究開発機構
測定箇所【2】(約55Km北西)	3月21日8時28分	9.2 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【3】(約45Km北西)	3月21日13時04分	7.0 [※]	降雨有り	日本原子力研究開発機構
測定箇所【3】(約45Km北西)	3月21日10時02分	7.5 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【4】(約50Km北西)	3月21日8時49分	2.8 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【5】(約48Km北)	3月21日10時42分	1.1 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【6】(約45Km北)	3月21日11時11分	2.2 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【7】(約45Km北)	3月21日11時18分	2.2 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【10】(約40Km北西)	3月21日10時10分	1.9 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【11】(約40Km北西)	3月21日10時23分	4.1 [※]	降雨無し	文部科学省
測定箇所【12】(約40Km西)	3月21日12時27分	0.7 [※]	降雨有り	文部科学省
測定箇所【13】(約40Km西)	3月21日12時49分	0.8 [※]	降雨有り	文部科学省
測定箇所【14】(約35Km西)	3月21日12時50分	0.7 [※]	降雨有り	文部科学省
測定箇所【15】(約35Km西)	3月21日13時00分	1.6 [※]	降雨有り	文部科学省

*1 GM(ガイガー-ミュンラー計測管)における値
 *2 層における値
 *3 No. (セナトリウム)シンチレータにおける値

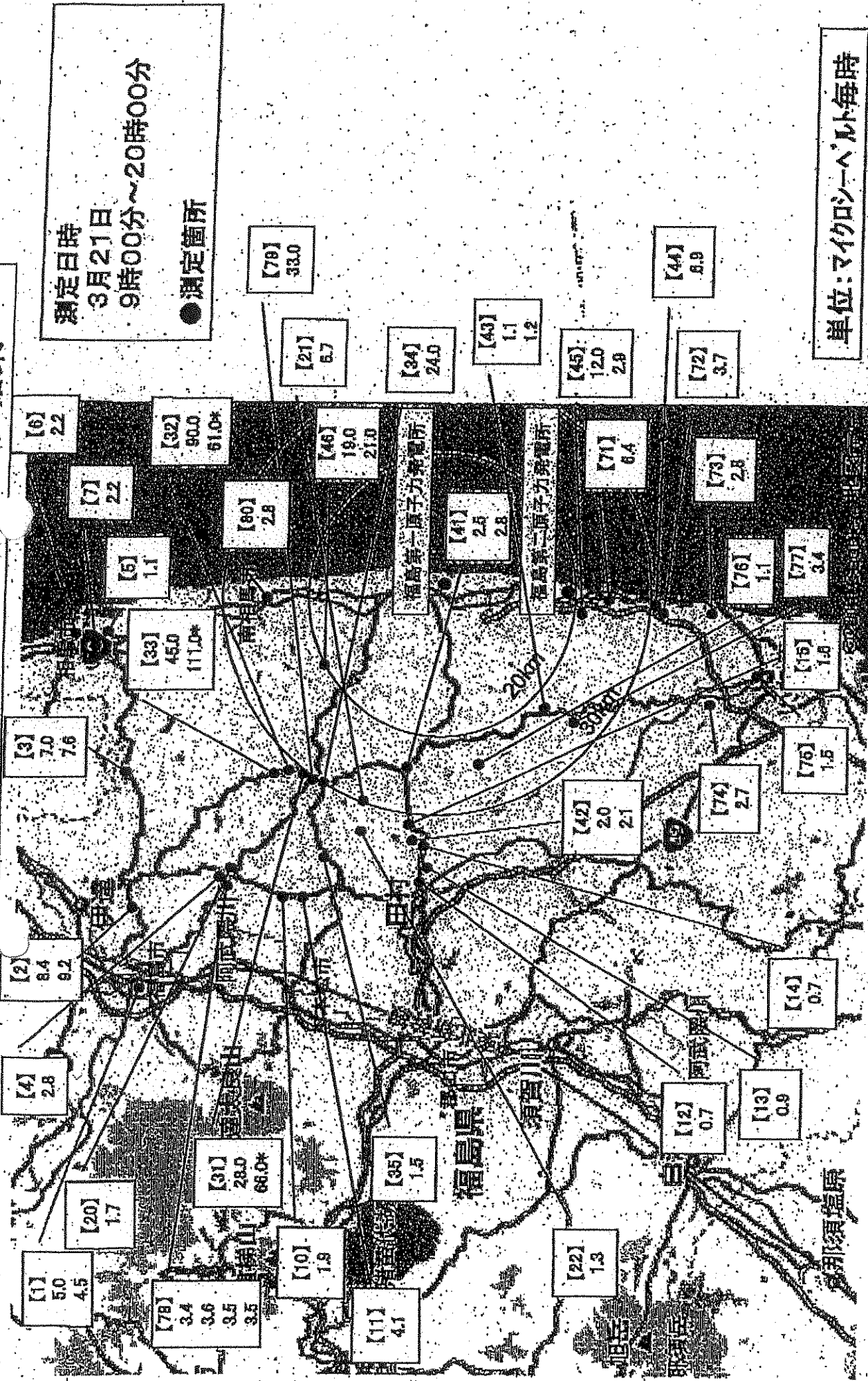
場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクローンベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【20】 (約45Km北西)	3月21日10時53分	1.7 ^㉙	降雨無し	文部科学省
測定箇所【21】 (約50Km西北西)	3月21日11時23分	6.7 ^㉙	降雨無し	文部科学省
測定箇所【22】 (約35Km西北西)	3月21日11時13分	1.3 ^㉙	降雨有り	文部科学省
測定箇所【31】 (約30Km西北西)	3月21日10時20分	28.0 ^㉙	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【31】 (約30Km西北西)	3月21日10時01分	55.0 ^㉙	降雨無し	警察(NBC対策本部)
測定箇所【32】 (約30Km北西)	3月21日10時40分	90.0 ^㉙	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【32】 (約30Km北西)	3月21日10時10分	51.0 ^㉙	降雨無し	警察(NBC対策本部)
測定箇所【33】 (約30Km北西)	3月21日10時50分	45.0 ^㉙	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【33】 (約30Km北西)	3月21日10時45分	111.0 ^㉙	降雨無し	警察(NBC対策本部)
測定箇所【34】 (約25Km北西)	3月21日11時35分	24.0 ^㉙	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【35】 (約30Km北西)	3月21日11時51分	1.5 ^㉙	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所【41】 (約20Km西)	3月21日17時25分	2.5 ^㉙	降雨有り	関西電力
測定箇所【41】 (約20Km西)	3月21日13時03分	2.8 ^㉙	降雨有り	関西電力
測定箇所【42】 (約30Km西)	3月21日16時44分	2.0 ^㉙	降雨有り	関西電力
測定箇所【42】 (約30Km西)	3月21日11時08分	2.1 ^㉙	降雨無し	関西電力
測定箇所【43】 (約20Km南西)	3月21日15時00分	1.1 ^㉙	降雨有り	日本原電
測定箇所【43】 (約20Km南西)	3月21日13時06分	1.2 ^㉙	降雨有り	日本原電
測定箇所【44】 (約30Km南)	3月21日13時15分	6.9 ^㉙	降雨有り	関西電力
測定箇所【45】 (約20Km南)	3月21日14時40分	12.0 ^㉙	降雨有り	水戸電力

- *1 GM(ガイガー計測管)における値
- *2 電離室における値
- *3 NaI(白ウチナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクローシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所【46】(約20Km南)	3月21日10時50分	2.3 ^{**}	降雨有り	九州電力
測定箇所【46】(約20Km北西)	3月21日11時40分	19.0 ^{**}	降雨有り	中部電力
測定箇所【44】(約20Km北西)	3月21日11時20分	21.0 ^{**}	降雨無し	中部電力
測定箇所【71】(約29Km南)	3月21日15時09分	3.4 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【72】(約30Km南)	3月21日15時21分	3.7 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【73】(約33Km南)	3月21日15時39分	2.8 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【74】(約35Km南)	3月21日15時20分	2.7 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【75】(約45Km南)	3月21日15時57分	1.5 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【76】(約25Km南西)	3月21日11時09分	1.1 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【77】(約25Km南西)	3月21日11時31分	3.4 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【78】(約45Km北西)	3月21日18時00分	3.4 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【78】(約45Km北西)	3月21日17時00分	3.5 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【78】(約45Km北西)	3月21日15時25分	3.5 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【78】(約45Km北西)	3月21日18時40分	3.5 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【79】(約30Km北西)	3月21日9時30分	33.0 ^{**}	降雨無し	警察(NBC対策部隊)
測定箇所【80】(約25Km北)	3月21日13時15分	2.8 ^{**}	降雨有り	警察(NBC対策部隊)

2. 防衛省の測定については準備中

福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果



* 警察(NEC対策部隊)によるポイント5倍の測定値

(参考)

屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: μSv)		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 <ul style="list-style-type: none"> 放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ウランによる骨表面又は肺の等価線量 プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量 	
10,000~ 50,000	100,000~ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000 以上	500,000 以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和55年6月30日原子力安全委員会決定
(最終改訂 平成22年8月24日))より

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

平成23年3月21日

都道府県別環境放射能水準調査（定時降下物）
の結果について（20日9時～21日9時採取）

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部
輦田（ほりた）、新田（にった）（内線4604、4605）
電話：03-5253-4111（代表）
[REDACTED]（直通）

各班 ← EPC 放射能計測機 → 共有

文部科学省航空機モニタリング行動計画

1. 文部科学省航空機モニタリング計画の目的

文部科学省としては、福島第一及び第二原子力発電所から空中に放出される放射性物質の状況について確認するため、防衛省のヘリコプターに航空モニタリング施設を搭載し、施設上空のモニタリングを実施する。

2. 文部科学省航空機モニタリング行動計画

モニタリング実施区域は、福島第一及び第二原子力発電所から空中に放出される放射性物質の状況を面的に確認するため、測定時の風向き等を考慮し、施設上空における空間線量率の測定を実施する。
(防衛省における原子炉への放水活動のため、航空モニタリング用のヘリコプターの手配については、現在調整中)

(行動計画案)

- フライト日：3月00日
- 測定高度：300～500メートル(地上高度)
- 速度：時速100キロメートル
- 測定場所：県庁を起点に、福島第一原子力発電所の西側3.0 km地点に接する陸側の地点を含む南に飛行しながら、空間線量率の測定を実施。西に移動した後、東北自動車道に沿う形で北上。

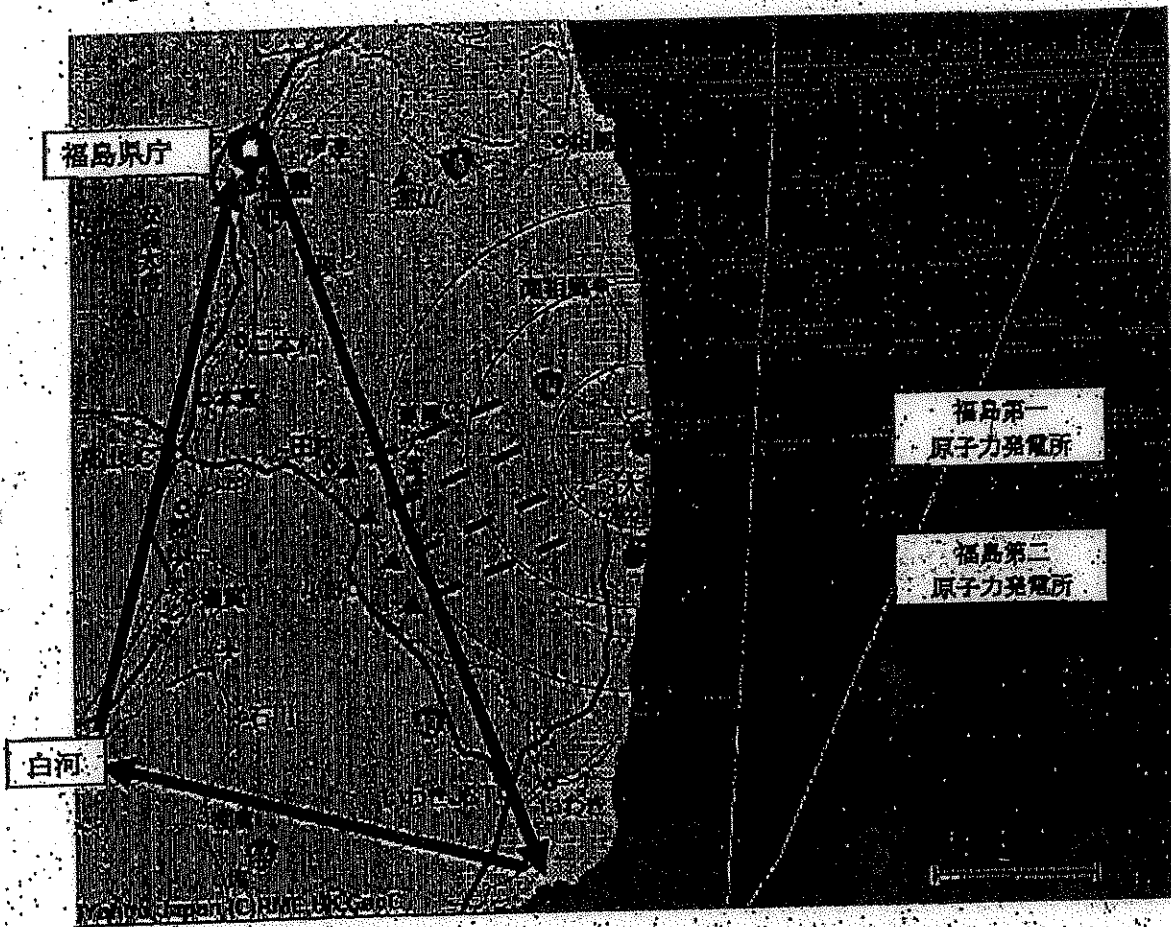
3. モニタリング実施者

文部科学省においては、空中におけるモニタリング技術に知見を有する(財)原子力安全技術センターに協力をお願いし、空中における線量率の測定を実施。

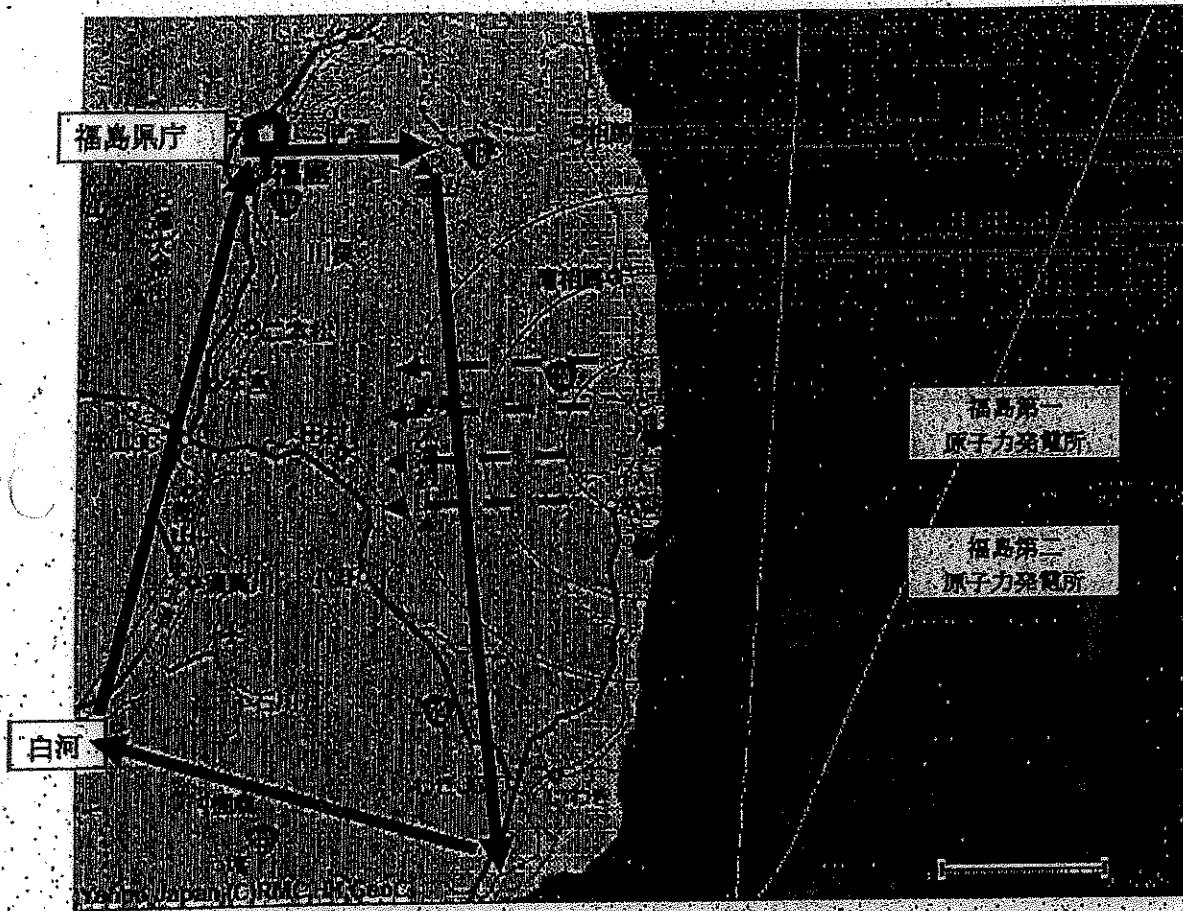
後落者 取く クズや時

←文科省 EOC
者 藤 大 也

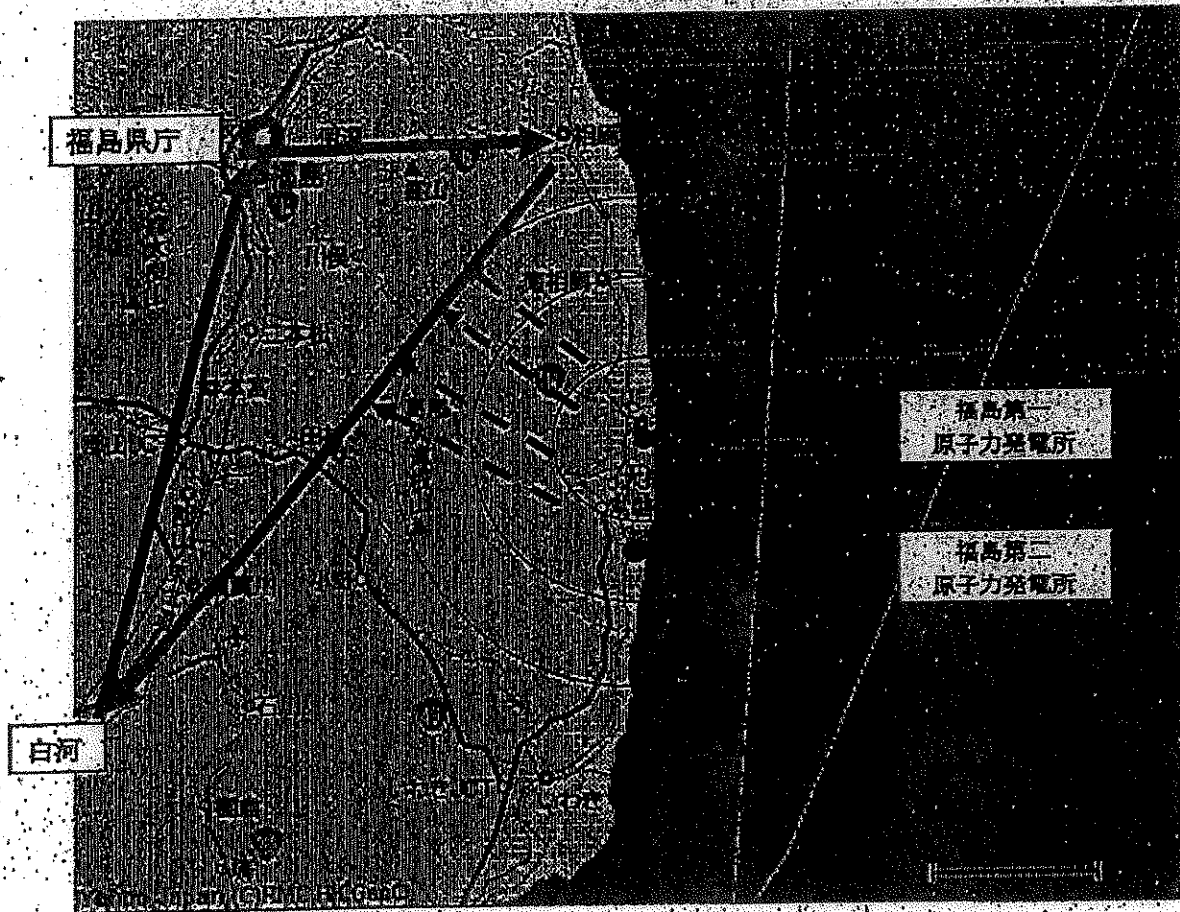
1. モニタリング行動計画案 (北東の風の場合)



2. モニタリング行動計画案（東の風の場合）



3. モニタリング行動計画案（南東の風の場合）



緊急時放射線量予測システム (SPEEDI) 及び環境緊急対応 (EER) 地区特別気象センター (RSMC) の予測情報はなぜ公開しないのか。

1. SPEEDI については、被ばく線量予測の前提となる原子炉からの放出核種、量が現時点で不明であるため、今回の福島原発による被ばく線量予測の計算は行っていない。

(注) SPEEDI とは、放出核種の種類、量、気象条件等のデータを入力して、被ばく線量を計算により予測するシステムとして開発されたものであり、文部科学省と原子力安全委員会が連携し、国内の原子力事故における緊急時対応に用いるものである。なお、今回の福島原発事故においては、原子力安全委員会は、同システムの気象予測の機能のみを活用し、放射性物質の放出の影響について定性的に把握するためにのみ利用している。

2. 気象庁が作成し、IAEA に提出した EER-RSMC の情報は、広域の国際的な原子力防災のために、IAEA による要請に基づき、1 センターとして回答したものであり、算出に当たっては、IAEA が定める条件に基づき、気象条件等を入力して計算したものである。したがって、福島原発の事故の実態を反映したものではなく、その公表は無用の混乱を招きかねないことから、政府の方針として公表していない。

3. いずれにせよ、原子力防災の観点からは、地上での放射線モニタリングデータ等に基づき、住民の安全が図られるよう適切な対応をおこなうとともに、そのデータはすべて公表している。

3/21 19:30 ~ TEPCO 会見
のツケQA

2011/08/21 21:16:00

東京電力

「放射能拡散シミュレーション結果を出したい」とおっしゃるA.
放射能拡散シミュレーションについて (H23. 8. 21)

(保)

- 当社においても、放射能の拡散をシミュレーションするシステムは、緊急時対応のために装備されている。
- シミュレーションのためには、環境に放出された放射能量のデータが必要となる。そうしたデータは排気筒のモニターで計測されるが、今回は電源がなかったため、必要なデータが計測されていない。
- したがってシステムはあるが、意味のある結果は得られていない。

以上

5委員

総括班

放射線班 ← (保)

本日の緊急会見で配布した資料

本計算は、

実際の I-131 の放出量が不明のため、I-131 の放出量を 3/12 16:00 ~ 3/24 15:00 において 1Bq/h で一定と仮定した場合のヨウ素の地表蓄積量分布を求めたものである。

地表蓄積量 (1131)

日時 = 2011/03/12 16:00 -

2011/03/24 15:00 の積算値

福島第 1 2号炉 広域図

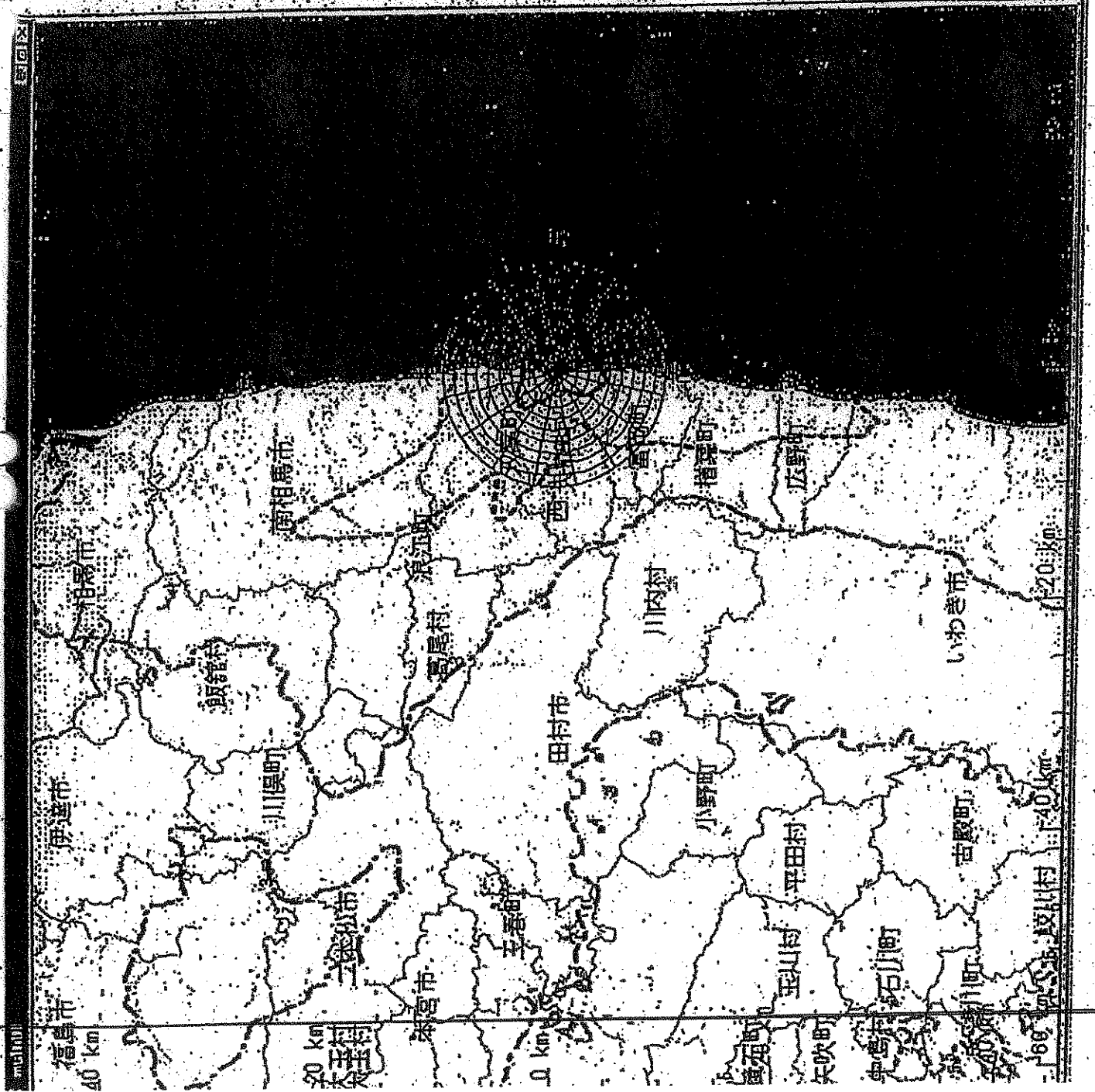
放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"

領域 : 92km X 92km

【凡例】

地表蓄積量等値線 (Bq/m²)

- 1= 1.00 X 10⁻⁷
- 2= 1.00 X 10⁻⁸
- 3= 1.00 X 10⁻⁹
- 4= 1.00 X 10⁻¹⁰
- 5= 1.00 X 10⁻¹¹



40 km

40 km

40 km

「放射性物質が検出された野菜等の
廃棄方法について」の検討要請に対
する回答（助言）

日時 3月23日 10時00分

原子力安全委員会 放射線班

(706-260 fax [redacted]) 発

原子力安全・保安院 ERC放射線班

(700-320 fax [redacted]) あて

本紙を含みFAX 2枚

メモ

放射線班 宮本久、石井忠 ([redacted])、舟木泰智

「放射性物質が検出された野菜等の廃棄方法について」の検討要
請に対する回答（助言）

平成 23 年 3 月 23 日 10:00

原子力安全委員会

緊急技術助言組織

3 月 22 日付けの「放射性物質が検出された野菜等の廃棄方法につ
いて」に関する農林水産省からの提示された方法については、野菜
のすきこみ及び焼却は望ましくない。

- ・ 現在、野菜に検出されている放射性同位元素は、放射性ヨウ素、
放射性セシウムである。例えば、北茨城市の 3 月 20 日（3 月 18 日
採取）のホウレンソウから放射性ヨウ素が 24,000Bq/kg、田村市の
3 月 22 日（3 月 21 日採取）のホウレンソウから放射性セシウムが
40,000Bq/kg の放射能が検出されている。
- ・ 飲食摂取制限に関する指標に示す制限濃度*は、放射性ヨウ素が
2,000Bq/kg、放射性セシウムが 500Bq/kg である。
- ・ 放射性ヨウ素は 12 倍の値を示しているが、核種の半減期が 8 日と
短い I-131 であり、2～3 ヶ月で減衰してしまう。
- ・ 一方、放射性セシウムは、80 倍の値を示しているが、畑において
処分した場合、栽培密度及び耕作土壌体積を考慮すると希釈によ
り約 60Bq/kg となり、天然の放射性カリウムの濃度の 10 分の 1
程度であり、問題となるレベルではないが、今後、放出の終息を
見極めて処分する必要があるので、既に刈り取った分は 1 箇所
に集めて保管する。まだ刈り取っていない野菜は、そのまま放置し
指示を待つ。原乳については自己所有地に集中的に埋設する。

* 原子力安全委員会「原子力施設等の防災対策について」（平成 23
年 8 月一部改定）

内部被ばく臓器等価線量

日時 = 2011/03/12 06:00 - 2011/03/23 00:00 の積算値
 気象データ = GPVのみ

福島第1 2号炉 広域図
 核種名 =ヨウ素合計
 対象年齢 = 1 歳児

放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"
 領域 : 92km X 92km
 臓器名 = 甲状腺

【凡例】

線量等値線 (mSv)

1 = 10000

2 = 5000

3 = 1000

4 = 500

5 = 100

最大線量 = 35260mSv

放出地点の西北西 0.6 km地点 (*印)

計算モデル名 = PRINDA21

使用モデル名 = 通常モデル

【計算条件】

計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km

放出高 = 20.0m

燃焼度 = 20000 MWD/MTU

原子炉停止時刻 = 2011/03/13 14:47

放出開始時刻 = 2011/03/12 06:00

放出モード = 変動放出

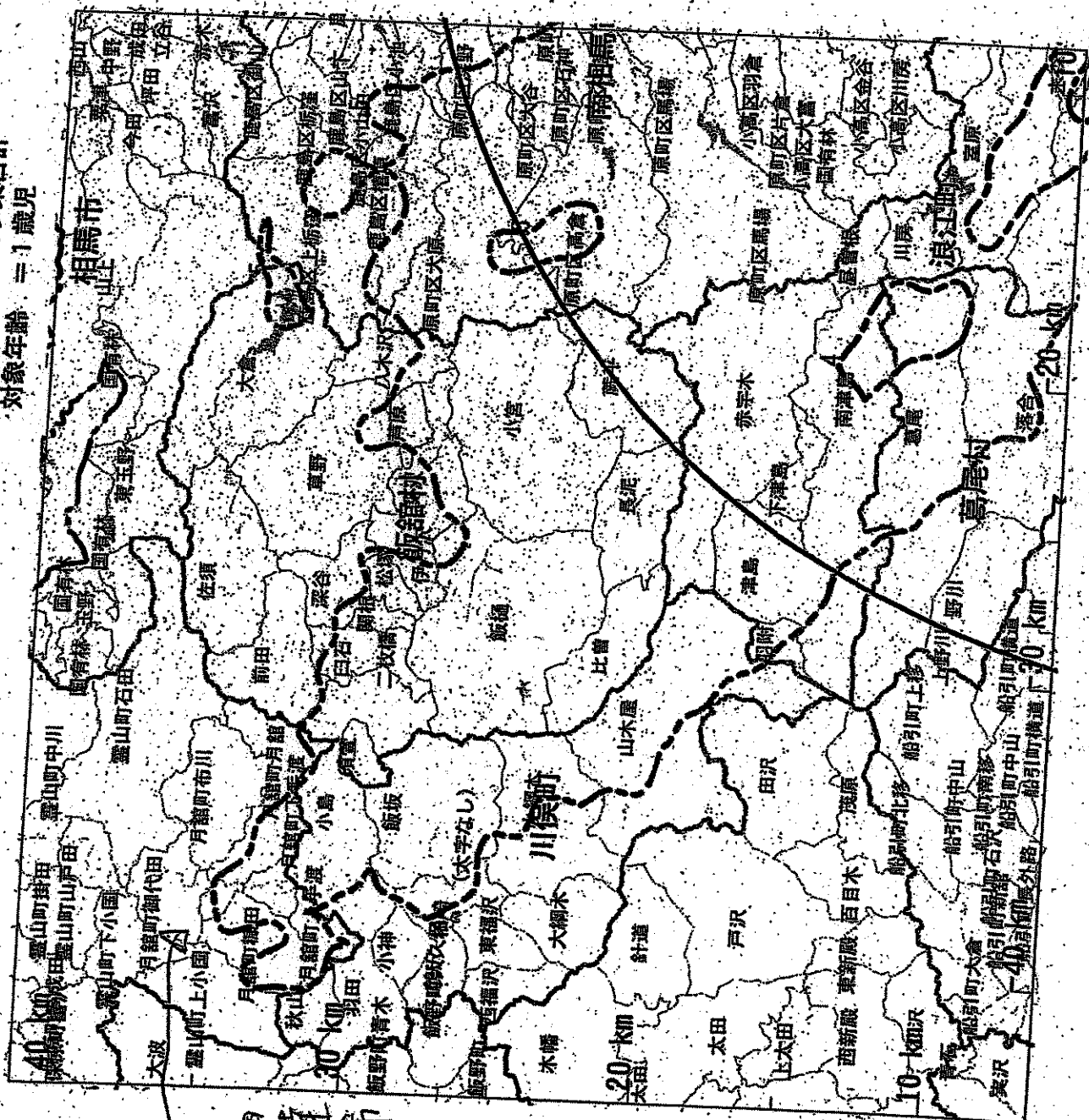
放出核種・放出率 (積算) : Bq/h (Bq)

I 1 3 1 : 2.00 × 10 13 (1.18 × 10 17)

I 1 3 2 : 2.00 × 10 13 (1.18 × 10 17)

Cs 1 3 7 : 2.00 × 10 12 (1.03 × 10 16)

Cs 1 3 4 : 2.00 × 10 12 (1.03 × 10 16)



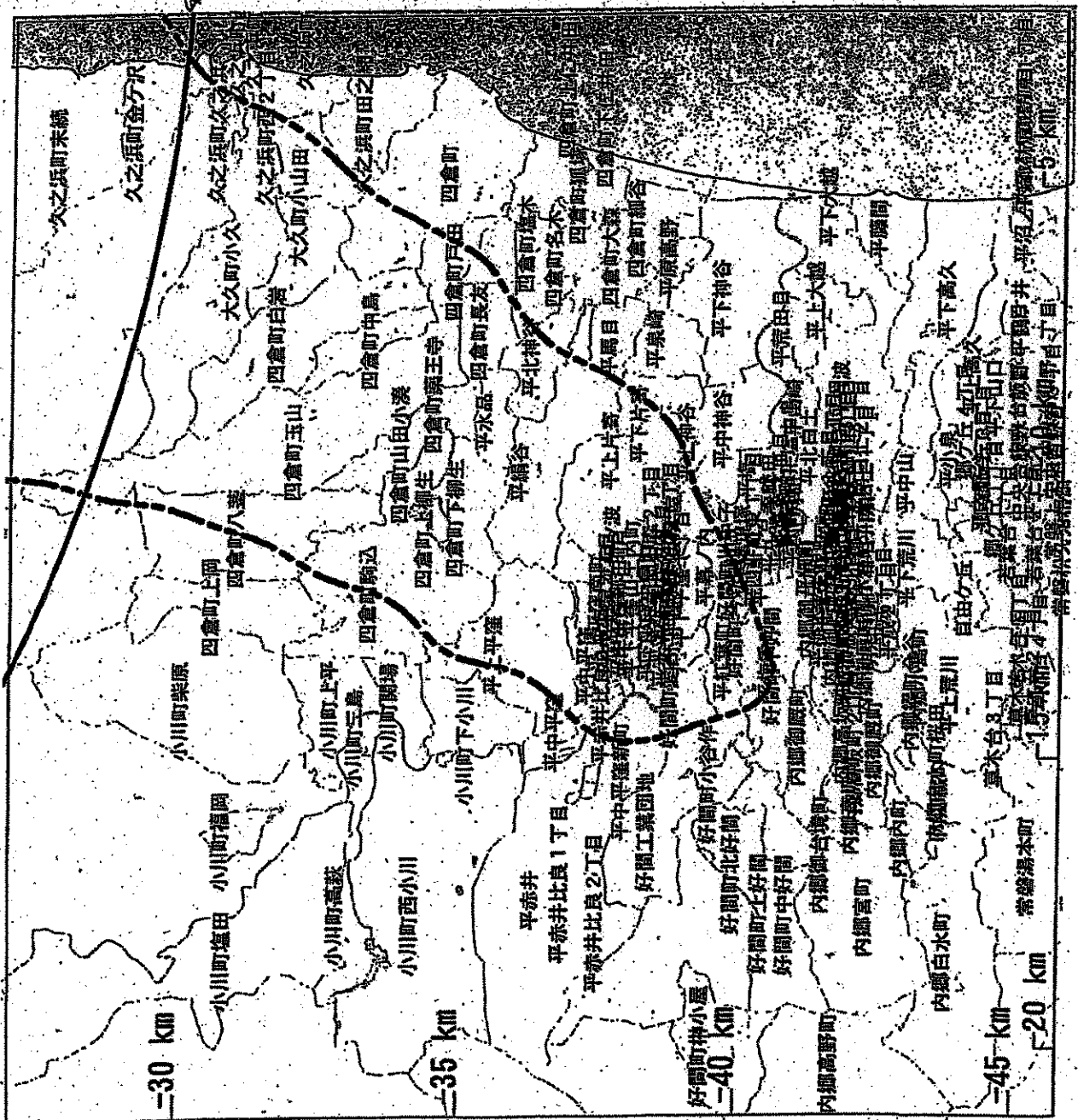
伊達市

安全委 2.2-1
 作成日時 2011/03/23 04:17

内部被ばく臓器等価線量
 日時 = 2011/03/12 06:00 - 2011/03/23 00:00 の積算値
 気象データ = GPVのみ

福島第1 2号炉 広域図
 核種名 = 3ウラン合計
 対象年齢 = 1歳児

放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"
 領域 : 92km × 92km
 臓器名 = 甲状腺



【凡例】

- 線量等値線 (mSv)
- 1=10000
 - 2=5000
 - 3=1000
 - 4=500
 - 5=100

最大線量=35260mSv
 放出地点の西北西 0.6 km地点 (*印)

計算モデル名 = PRWDA21
 使用モデル名 = 通常モデル
 【計算条件】

- 計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km
- 放出高 = 20.0m
- 燃焼度 = 20000 MWD/MTU
- 原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47
- 放出開始時刻 = 2011/03/12 06:00
- 放出モード = 変動放出
- 放出核種・放出率(積算) : Bq/h (Bq)
- I 1 3 1 : 2.00×10¹³ (1.18×10¹⁷)
- I 1 3 2 : 2.00×10¹³ (1.18×10¹⁷)
- C s 1 3 7 : 2.00×10¹² (1.03×10¹⁶)
- C s 1 3 4 : 2.00×10¹² (1.03×10¹⁶)

いちご市

安全委 2 2 - 1
 作成日時 2011/03/23 04:17

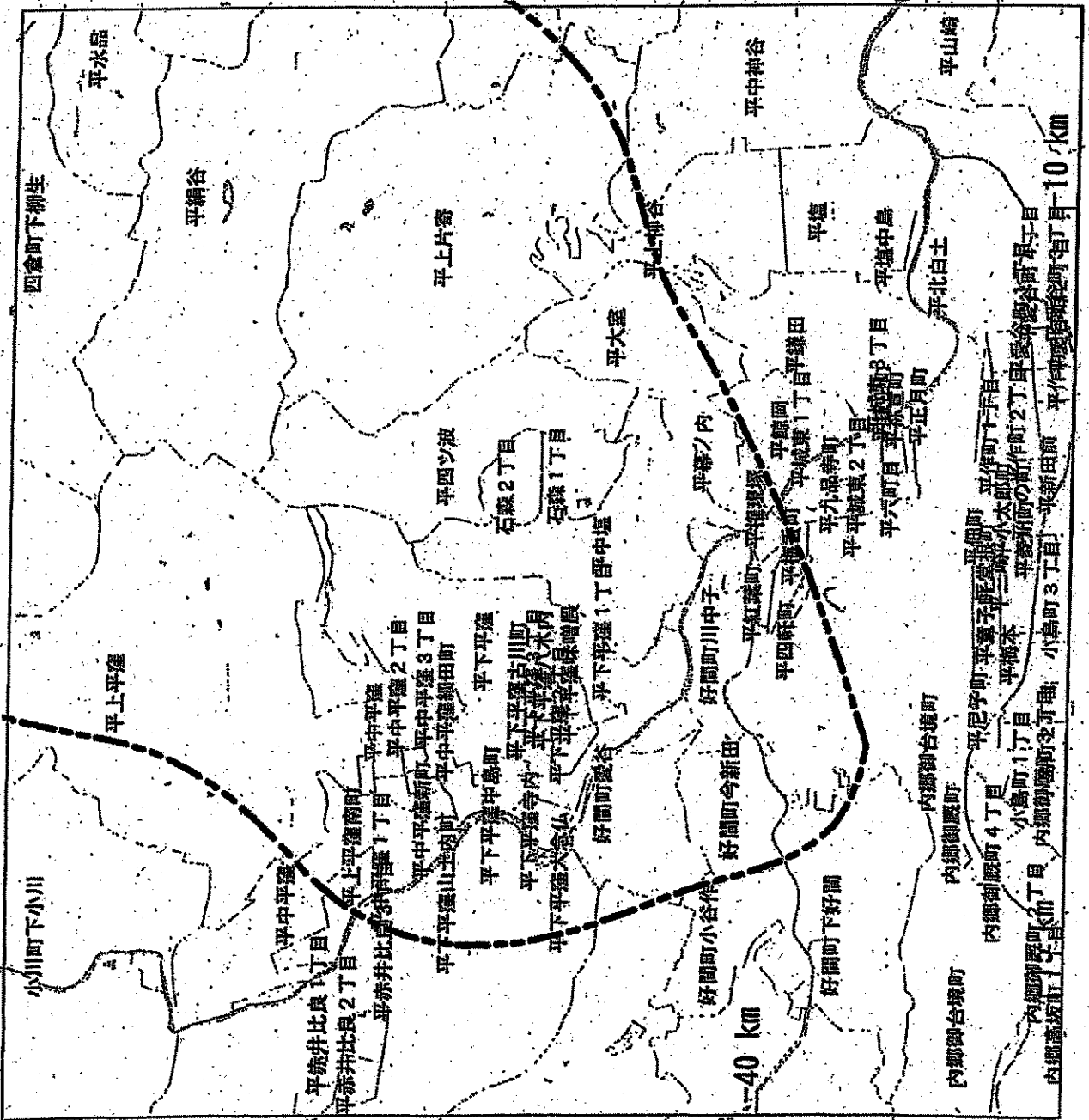
内部被ばく臓器等価線量

日時 = 2011/03/12 06:00 - 2011/03/23 00:00 の積算値

気象データ = G P V のみ

福島第1 2号炉 広域図
核種名 = ^{131}I の積算値
対象年齢 = 1歳児

放出地点 : 141° 02' 08" - 37° 25' 18"
領域 : 92km × 92km
臓器名 = 甲状腺



【凡例】
線量等値線 (mSv)

- 1=10000
- 2=5000
- 3=1000
- 4=500
- 5=100

最大線量 = 35260mSv
放出地点の西北西 0.6 km地点 (*印)

計算モデル名 = PRWDA21
使用モデル名 = 通常モデル

【計算条件】

- 計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km
- 放出高 = 20.0m
- 燃焼度 = 20000 MWD/MTU
- 原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47
- 放出開始時刻 = 2011/03/12 06:00
- 放出モード = 変動放出
- 放出核種・放出率(積算) : Bq/h (Bq)
- I 131 : 2.00×10¹³ (1.18×10¹⁷)
- I 132 : 2.00×10¹³ (1.18×10¹⁷)
- Cs 137 : 2.00×10¹² (1.03×10¹⁶)
- Cs 134 : 2.00×10¹² (1.03×10¹⁶)

いわき市(拡大)

安全委 2-2-1
作成日時 2011/03/23 04:17

13=2070LZ

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成23年3月24日

福島第一原子力発電所の2.0Km以遠の モニタリング結果について

(3月24日13:00現在)

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

なお、24日10:00現在の値を修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

(訂正箇所)

福島第一原子力発電所の2.0Km以遠のモニタリング結果について

1. 文部科学省が集計した結果

(修正前) 測定エリア【3-2】(約2.6Km北西)

(修正後) 測定エリア【3-2】(約3.0Km北西)

(訂正理由)

数値の記載ミス。

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部
堀田(ほりた)、新田(にった) (内線4604、4605)
電話: 03-5253-4111 (代表)
[REDACTED] (直通)

福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果について

平成23年3月24日13時00分現在
文部科学省

1. 文部科学省が集計した結果(注)本下観測データが今回修正箇所、その値は本日のデータ

- *1 GM(ガイガー-ミュラー計測管)における値
- *2 電離箱における値
- *3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【1】(約60Km北西)	3月24日7時45分	3.4 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【15】(約35Km西)	3月24日10時56分	2.0 [※]	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【31】(約30Km西北西)	3月24日11時08分	23.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【32】(約30Km北西)	3月24日11時20分	05.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【32】(約30Km北西)	3月23日12時14分	75.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【33】(約30Km北西)	3月24日11時32分	30.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【34】(約30Km北西)	3月24日11時00分	14.0 [※]	降雨無し	文部科学省
測定エリア【35】(約35Km北西)	3月24日10時35分	2.5 [※]	降雨無し	文部科学省

2. 防衛省の測定については準備中



平成23年3月24日

福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング の結果について

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部
堀田（ほりた）、新田（にった）（内線4604、4605）
電話：03-5253-4111（代表）
[REDACTED]（直通）

3. 海上の塵中の放射能濃度^{※1}

測定試料採取点	採取日時	核種	放射能濃度(Bq/m ³) ^{※2}
第1海域測点1	3月23日8時10分	¹³¹ I	0.133
		¹³⁷ Cs	0.00676
第1海域測点2	3月23日9時00分	¹³¹ I	0.0623
		¹³⁷ Cs	0.0694
第1海域測点3	3月23日9時30分	¹³¹ I	0.0936
		¹³⁷ Cs	不検出
第1海域測点4	3月23日10時15分	¹³¹ I	0.0866
		¹³⁷ Cs	0.016
第2海域測点1	3月23日11時20分	¹³¹ I	—
		¹³⁷ Cs	—
第2海域測点2	3月23日12時00分	¹³¹ I	—
		¹³⁷ Cs	—
第2海域測点3	3月23日12時37分	¹³¹ I	—
		¹³⁷ Cs	—
第2海域測点4	3月23日13時32分	¹³¹ I	—
		¹³⁷ Cs	—

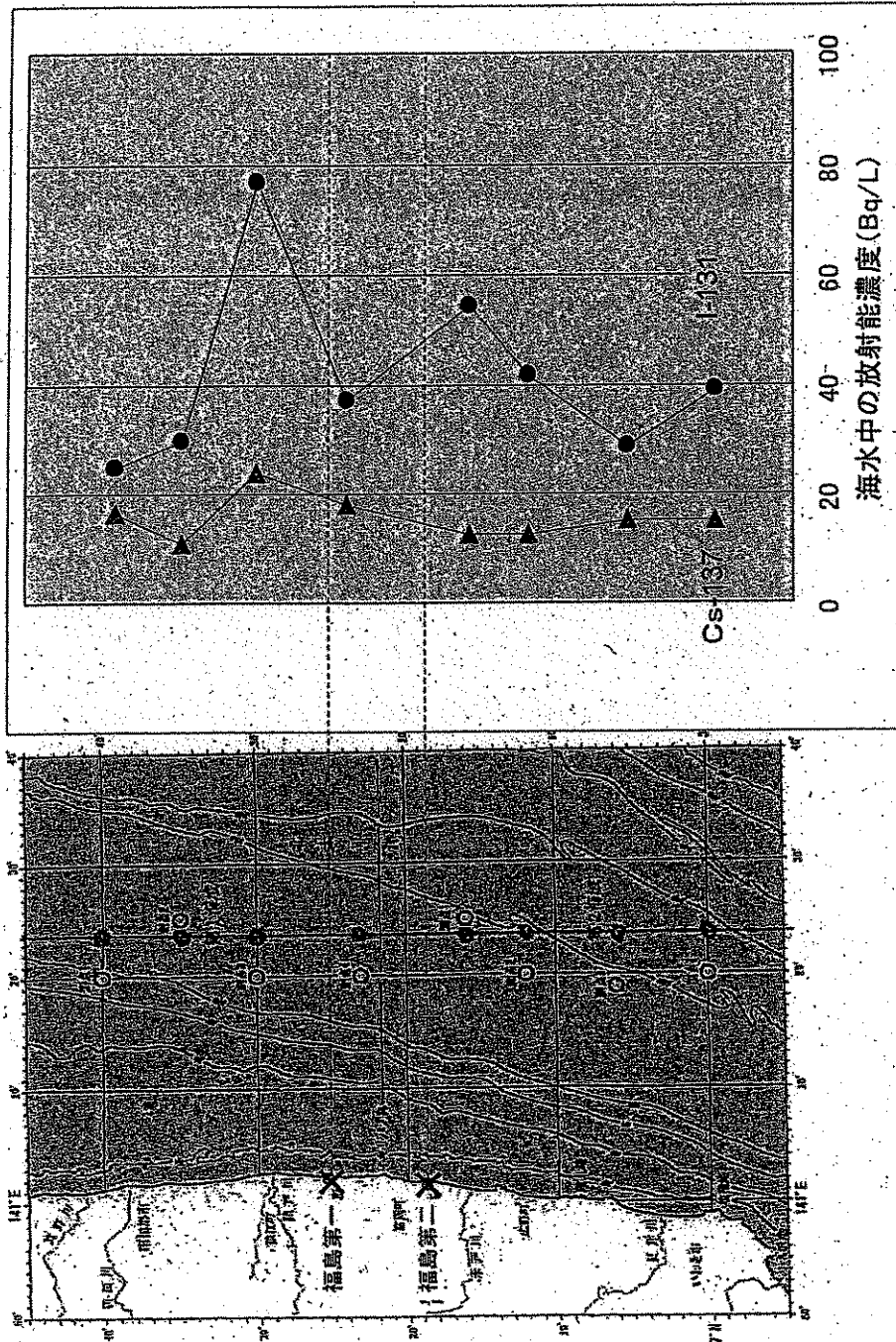
※1 サンプリングは第1海域のみで行った。

※2 周辺監視区域外の空気中の濃度限度(¹³¹I:10Bq/m³、¹³⁷Cs:30Bq/m³)

各測定点の位置は次のとおり

第1海域測点1	37° 39.3′ N, 141° 24.0′ E
第1海域測点2	37° 35.0′ N, 141° 23.9′ E
第1海域測点3	37° 30.2′ N, 141° 23.9′ E
第1海域測点4	37° 24.1′ N, 141° 24.4′ E
第2海域測点1	37° 16.1′ N, 141° 23.8′ E
第2海域測点2	37° 12.1′ N, 141° 23.9′ E
第2海域測点3	37° 05.7′ N, 141° 24.0′ E
第2海域測点4	36° 59.9′ N, 141° 23.8′ E

海域モニタリング結果(平成23年3月23日採取)



<< 日常生活と放射線 >>

引き上げ後の上限

[250,000マイクロシーベルト/年]

緊急作業従事者の場合に認められている上限

[100,000マイクロシーベルト/年]

放射線業務従事者及び防災に係る警察・消防
従事者に認められている上限

[50,000マイクロシーベルト/年]

胸部X線コンピュータ断層
撮影装置 (CTスキャン) (1回)

[6,900マイクロシーベルト/回]

[10,000マイクロシーベルト/年]

プラズミール・ガラパゴスの
放射線 (年毎、大塚などから)

1人当たりの
自然放射線 (年間)

(世界平均)

宇宙	食料	空気中のラドン
5.039	5.29	1.26

神奈川

[2,400マイクロシーベルト/年]

国内自然放射線の差 (年間)
(黒川平均値の差の最大)

[400マイクロシーベルト/年]

東京-ニューヨーク航空機旅行 (往復)
(高度による宇宙線の増加)

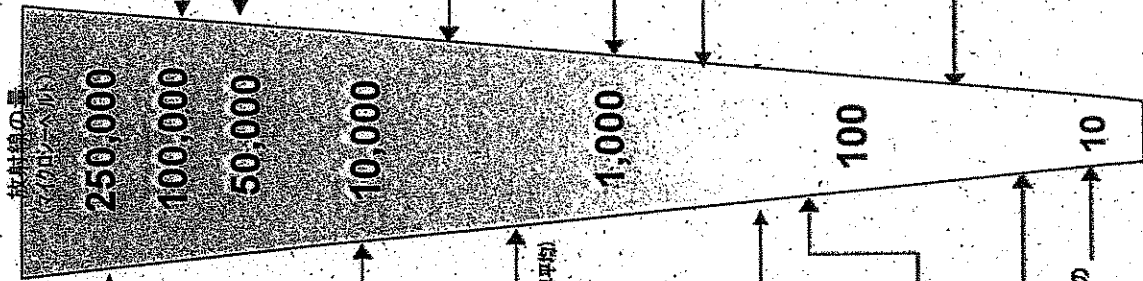
[200マイクロシーベルト/往復]

再処理工場からの放射線物質の
放出による曝露値 (年間)

[22マイクロシーベルト/年]

クリアランスレベル導出の
線量目安値 (年間)

[10マイクロシーベルト/年]



※ Sv [シーベルト] = 放射線の種類による生物効果の定数 (※) × Gy [グレイ] ※ X線、γ線では 1

資源エネルギー庁「原子力2002」をもとに文部科学省において作成